

令和5年シラス曳網調査結果 (第3報)

令和5年6月23日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

6月21日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深9m)、141-05E(水深26m)

141-10E(水深38m)、141-14E(水深48m)

3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)

水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

21.3°C~22.4°C

(2)シラス採捕数(図1)

1 定点あたり 16~1,664 尾 (合計 3,243 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(5月29日、0~223尾、合計345尾)と比較し、増加しました。

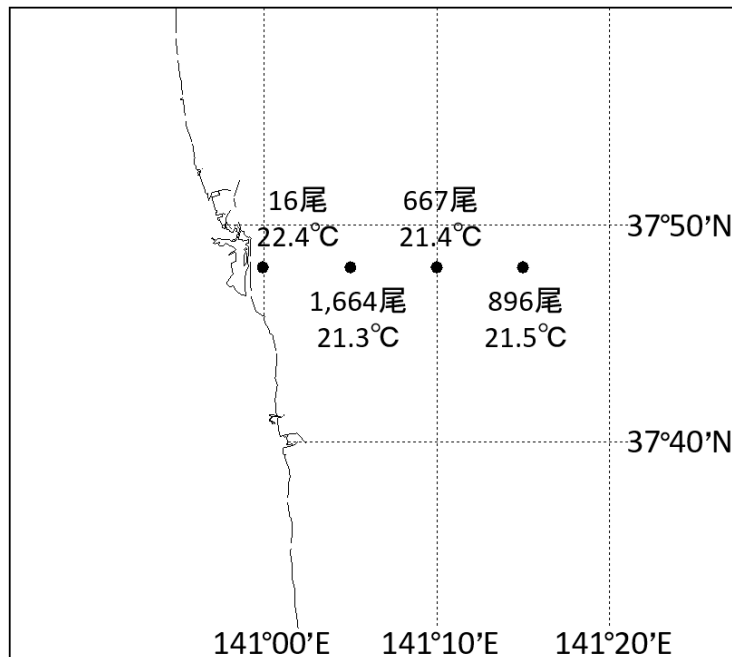


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：2.9～30.0mm(モード：8～10mm)

全長10mm前後の群と全長25mm前後の群の2つの群で構成されていました。

なお、141-05Eでは全長10mm前後の群が確認され、141-10E、141-14Eでは全長10mm前後と25mm前後の2つの群が確認されました。

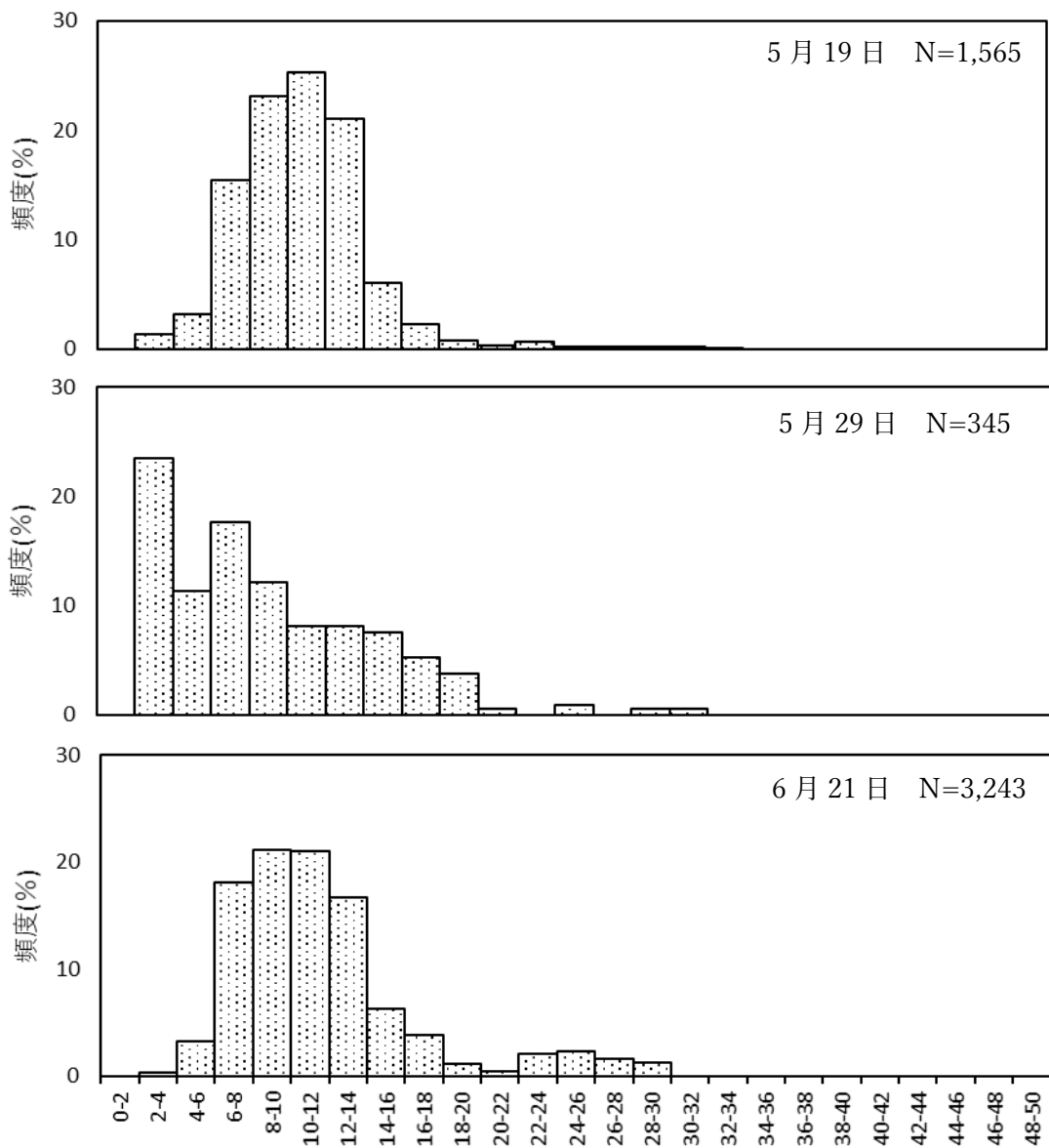


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和5年6月のシラス採捕数は平成18年以降で最多となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

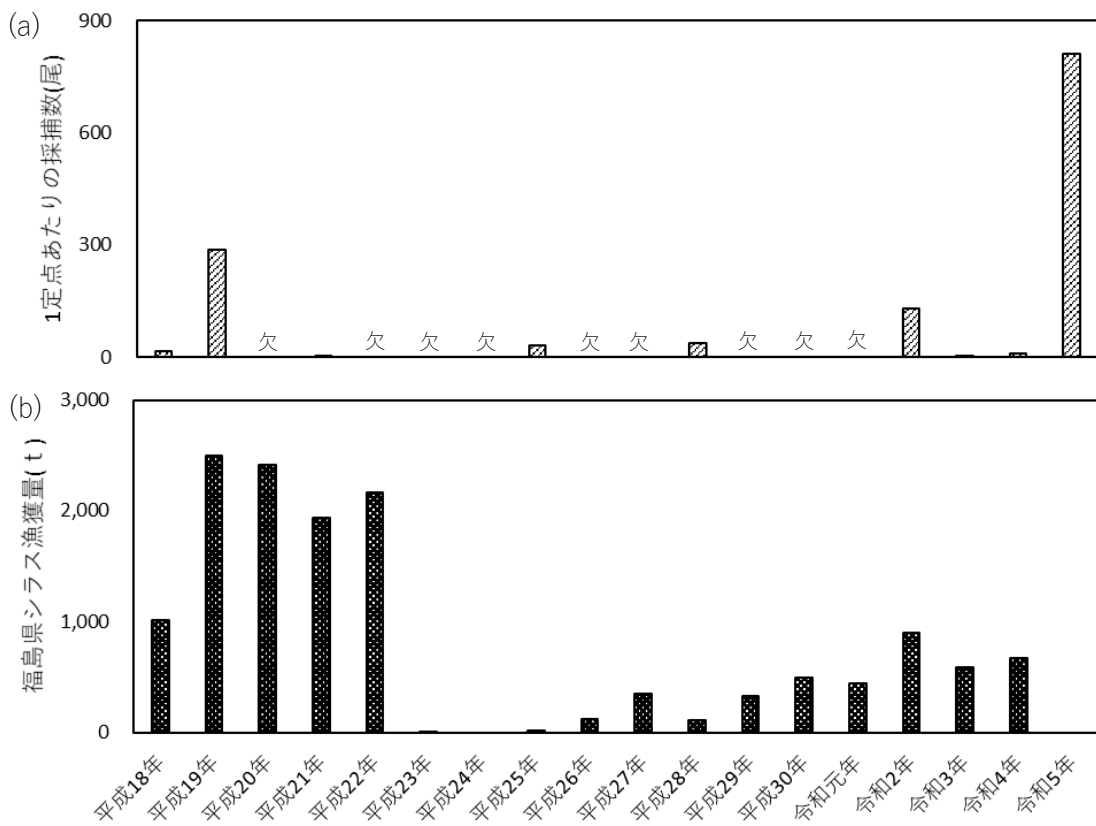


図3 (a)相馬海域における6月の1定点あたりの採捕数
(b)福島県の年別シラス漁獲量